

エコライフ・フェア 2018 及び 平成 30 年度エコチル調査国際シンポジウムについて

1. エコライフ・フェア 2018

1-1 開催概要

環境省は、毎年 6 月の環境月間に全国各地で展開される様々な行事の中の主たる行事の一つとして、平成 2 年以来、関係地方公共団体、関連法人、団体、企業、NGO・NPO 等と連携し、環境保全全般にわたる普及啓発活動を目的として「エコライフ・フェア」を開催している。

日時 : 2018 年 6 月 2 日 (土) 11:00~17:00、6 月 3 日 (日) 10:00~17:00
 テーマ : 「気づき」から「行動」へ ～地球の未来のために～
 会場 : 代々木公園 ケヤキ並木 (NHK ホール前/イベント広場)

1-2 エコチル調査トークショー (6 月 3 日)

エコチル調査トークショーでは、中川環境大臣と雛形あきこさん (女優) が対談を行った。



1-3 展示ブースへの出展 (6 月 2 日、6 月 3 日)

展示ブースでは、戦略広報委員会で考案し環境省が作成した子供が自由に体験できるツールとして、ケミカルパズルとケミカルすごろくを展示した。

また、エコチル調査のパンフレットやパネル、詳細調査紹介ツール、各ユニットセンターのチラシなども合わせて展示した。

※出展ブースへの訪問者数は 250 組程度 (アンケート回収数より推定)



2. 平成 30 年度エコチル調査国際シンポジウム

2-1 開催概要（予定）

タイトル	子どもの環境保健研究の公衆衛生的意義：エコチル調査等の出生コホート研究の地域公衆衛生活動への貢献
目的	若手研究者等の育成（エコチル調査の研究者及びリサーチコーディネーターに加え、学会に参加している研究者、看護師、保健師も想定）
開催日程	平成 30 年 10 月 26 日（金）12：45～14：35（110 分）
開催場所	ビッグパレットふくしま コンベンションホール B（第 3 会場） ※第 77 回日本公衆衛生学会総会内のシンポジウムとして開催
共催	環境省、国立環境研究所
対象	エコチル調査関係者及び公衆衛生学会からの参加者
参加費	エコチル調査関係者においてシンポジウムのみ参加の場合、学会費・参加費は不要（他のシンポジウム等に参加する場合は必要）
使用言語	英語・日本語（同時通訳あり）
座長	上島通浩（エコチル調査国際連携調査委員長） 中山祥嗣（エコチル調査国際連携調査委員）
講演者・パネリスト	① Leonardo Trasande, MD, MPP（ニューヨーク大学准教授） ② Michelle Bell, PhD（イェール大学教授） ③ Sally Perreault Darney, PhD（米国環境健康科学研究所 EHP 編集長） ④ 橋本浩一（エコチル調査 福島ユニットセンター長）
プログラム	<第一部>講演 ① 講演「内分泌かく乱化学物質：高額かつ予防可能な公衆衛生上の脅威」 講演者：Leonardo Trasande, MD, MPP ② 講演「大気汚染ばく露の小児健康影響」 講演者：Michelle Bell, PhD ③ 講演「我々の子どもたちの健康的かつ持続可能な環境：研究から実地への反映」 講演者：Sally Perreault Darney, PhD ④ 講演「東日本大震災の復興とともに歩む福島県におけるエコチル調査」 講演者：橋本浩一 <第二部>パネルディスカッション